

令和7年3月8日

東北各県柔道連盟
少年団担当 様

岩手県柔道連盟

会長 千 葉 翠

(公印省略)

第38回マルちゃん杯東北少年柔道大会開催について(参加依頼)
標記大会が添付要項のとおり岩手県において開催されることになりました。
つきましては、多数ご参加下さるようご周知願います。

なお、参加申込みは可能な限りインターネット (google フォーム) による申込みをお願いします。インターネットによる申し込みが難しいときは、「岩手県柔道連盟」ホームページより参加申込書をダウンロードのうえ、データによりメールにて申し込みとします。個々のチームへ文書案内は致しません。

岩手県柔道連盟ホームページをご確認いただきますよう貴県少年団に周知をお願いします。

なお、各県連盟会長へ文書依頼し事務局へ開催案内を通知しております。
3月10日より参加申込みを受付けします。

【大会事務局(岩手県柔道連盟)】

〒028-0082 久慈市川貫 5-20-230

久慈市立三船十段記念館内

「マルちゃん杯東北少年柔道大会事務局」

(E-mail judo.iwate92@gmail.com)

Tel.0194-53-2210 担当(細工藤・久松)

第38回マルちゃん杯東北少年柔道大会実施要項

1. 目的 柔道の試合を通じて、心身の鍛錬及びその技能を磨き、将来を担う東北地区の少年相互の親睦を図り、明るく、そしてたくましい少年の健全育成を目的とする
2. 主催 東北柔道連盟 東洋水産株式会社
3. 主管 岩手県柔道連盟
4. 後援 (公財)全日本柔道連盟、岩手県、岩手県教育委員会、(公財)岩手県スポーツ協会
岩手県スポーツ少年団、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手朝日テレビ
めんこいテレビ、エフエム岩手、(株)ジョイス
5. 日時 令和7年5月18日(日)
役員開場(1階) 7:00~
選手・監督・コーチ入場(1階) 7:10~
観覧者入場(2階)※外の階段から入場をお願いします 7:50~
監督・審判会議 7:50~ 剣道場
開会式 9:00
試合開始 9:25~
試合終了 15:30頃
表彰・閉会式 試合終了後~
6. 会場 岩手県営武道館
〒020-0122 盛岡市みたけ3-24-1 電話 019-641-4577
7. 試合種別 小学生の部(男女混合)・中学生男子の部・中学生女子の部の3部制とする。
※出場チームは各種別において1団体1チームとする。
8. 参加資格 (1) 対象は小・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中に在籍しているものであって、全日本柔道連盟に登録(団体登録)をしている「学校」、「道場」、「クラブ」、「スポーツ少年団」単位とする。未登録チームは出場できないので、登録をしていないチームは速やかにWEBで団体登録を行うこと。
(2) 選手は、出場するチームを通して、全日本柔道連盟(競技者登録)をしていること。なお、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。
(3) 監督は、全日本柔道連盟登録(指導者登録C指導員以上)をしていること。または「学校顧問特例資格」を有していること。「試合場におけるコーチの振る舞いについて」に従って行動すること。複数のチームの監督を兼任することはできない。また、マルちゃん杯全日本少年柔道大会へ東北代表として出場するチームの監督は、全柔連登録(指導者登録B指導員以上)を取得したものとす。
(4) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承認を得ていること。
(5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。
(6) 選手の氏名、学校名、身長、体重等のプログラム掲載及び大会結果、写真等の新聞・雑誌への掲載等の取り扱いについて、参加申込みの提出により、承諾したものとす

る。ただし、特別の事情のある場合は大会事務局に申し出ること。

- (7) ゼッケンのない選手の出場は認めない。(統一されたチーム名のゼッケンであること。)

9. 審判規程
- (1) 試合は(2025-2028)国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」で行なう。
 - (2) 試合時間は2分とする。但し小学生の部における決勝戦、及び中学生の部(男子・女子)の部における準々決勝以上は3分とする。
 - (3) 勝敗の判定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。僅差とは、双方の選手間に技による評価(有効)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

10. 試合方法
- (1) 試合方法は、各部ごとのトーナメント戦で行う。
 - (2) チーム間の勝敗は次による。
 - ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「一本」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑤ ④で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。
 - (3) 代表戦においては、通常の2または3分間の試合を行い、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は、旗判定で勝敗を決定する。(GSは行わない)出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。
 - (4) 選手のオーダーは、負傷・事故防止のため体重の重い選手から順に大将から配列するものとする。なお、試合中に負傷等で欠員が生じた場合も、大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする。

11. 表彰
- (1) 上位4チームまでの入賞チームを岩手県柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状(第3位まで)及び賞品を授与する。
 - (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド・ワダ杯を授与する。
 - (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し各部5名(中学生女子の部は3名)に優秀選手賞を授与する。
 - (4) 入賞チームの中から敢闘選手を選考し、小学生の部・中学生(女子の部は無し)の各部1名ずつ神永昭夫杯、1名に天野芳太郎杯を授与する。
 - (5) 令和7年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会開催日及び出場チーム数
 - ①令和7年9月22日東京武道館で開催
 - ②小学生の部上位4チーム
 - ③中学生男子の部上位6チーム<<5位決定戦を行い、2チームを決定する。>>
 - ④中学生女子の部上位2チーム

*なお、全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。

12. 申込方法
- (1) 申込期日 令和7年4月18日(金) 必着 ※ 期間厳守のこと。
上記期限までに、可能な限りインターネット(google フォーム)による申し込みを

お願いします。インターネットによる申し込みが難しいときは、岩手県柔道連盟 HP から参加申込書をダウンロードしメールで申込みください。

【申込用 URL】

・小学生の部⇒<https://forms.gle/htFYtbSu3VAD1Jkw6>



・中学生男子の部⇒<https://forms.gle/HdaNTNjrzn9tBNYx5>



・中学生女子の部⇒<https://forms.gle/8dGz59fHJ35V4pbs7>



※部門ごとに申込フォームが違うので、間違えないようにお願いします。

(2) 申込先 岩手県柔道連盟

〒028-0082 岩手県久慈市川貫 5-20-230 久慈市立三船十段記念館内

「第38回マルちゃん杯東北少年柔道大会事務局」

電話 0194-53-2210 E-mail: judo.iwate92@gmail.com

13. 選手変更

(1) 申込期日後の怪我等による選手変更は、大会当日に選手変更届を提出すること。選手を変更する場合は、補欠起用後、補欠への補充を認める。補充後は、改めて体重の重い順に大将から配列すること。

(2) 大会中の負傷等によって変更した選手は、以後の試合に出場できない。

14. 組合せ

令和7年5月1日(木)に大会事務局において行う。なお、抽選結果については、後日東洋水産、岩手県柔道連盟ホームページに掲載します。

15. 保険

(1) 参加者全員を主催者負担で傷害保険に加入する。(健康保険証持参)

(2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すがそれ以外の責任は負わない。

(3) 万一の事故発生に備え、各チーム独自の傷害保険等、万全の事故対策を立てておくこと。

16. 参加料

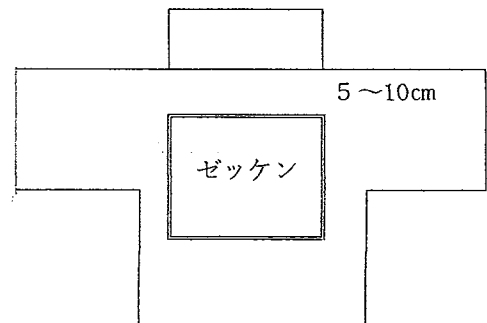
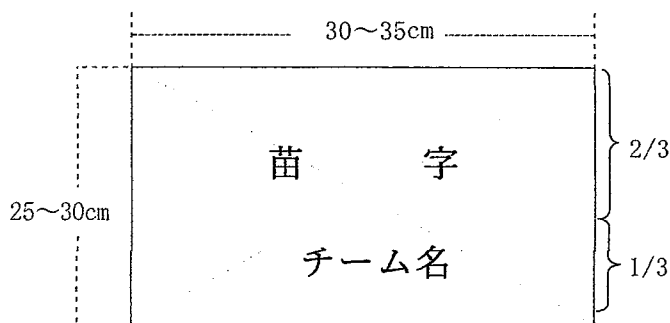
無料

17. ゼッケン

(1) 柔道衣に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。

図1 ゼッケンの縫い付け方

図2 ゼッケンの縫い付け位置



① 布地は白色の晒太綾、サイズは概ね横 30~35 cm・縦 25~30 cmとする。

② 後襟から 5~10 cm 下部に点線部分を縫い付ける。(対角線も縫い付けること)

③ 上 2/3 に苗字、下 1/3 にチーム名をゴシック体または明朝体(楷書)で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。

④ チーム内に同じ苗字(姓)の選手がいる場合は、名前の1字を記載する。

18. その他 (1) 脳しんとうについて

① 大会1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

- ② 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③ 練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(2) 感染症感染拡大予防について

- ① 登録選手以外の試合会場への出入りを認めない。最大数(小・中男:7人、中女4人)
- ② 体調不良の症状がある場合は入館できない。
- ③ 小学生、中学生女子、中学生男子を同時に行い、敗退したチームから随時、試合会場から退館する。なお、入賞チームは閉会式と一緒に表彰を行う。
- ④ 何れかの不正が発覚した場合は、大会運営を止めて当該チームの選手・観戦者全員の退館を検討する。

(3) 監督、コーチの振る舞いについて

全日本柔道連盟の定めによる。(試合場には監督又はコーチ1名のみとする。)

(4) 宿泊、弁当について

大会事務局では対応いたしませんので各自でお願いします。

(5) 駐車場について

駐車場が狭く遠距離となることから、乗り合わせでの参加をお願いします。路上駐車等がみられた場合は警察への通報となります。係員の指示に従いご協力をお願いします。

19. 個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込書に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。提出された個人情報については、上記目的以外に使用することはありません。参加申込用紙の提出により、上記取り扱いについての承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

大会事務局

〒028-0082 岩手県久慈市川貫5-20-230

岩手県柔道連盟 担当(細工藤、久松) TEL 0194-53-2210

携帯 090-1066-3625